



平成 11 年 6 月 11 日
日本原子力発電株式会社

定期検査中の東海第二発電所で発見された不具合について
(中性子計測ハウジング部のひびについて)

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉；電気出力 110 万キロワット）は、本年 4 月 4 日より第 17 回定期検査を実施しておりますが、炉内中性子計測装置を収納している管（炉内核計装ハウジング）の応力腐食割れに対する予防保全工事を実施中のところ、本日、超音波探傷検査により 1 本のハウジングに微小なひびがあることを発見しました。

このため、詳細調査を行うこととします。

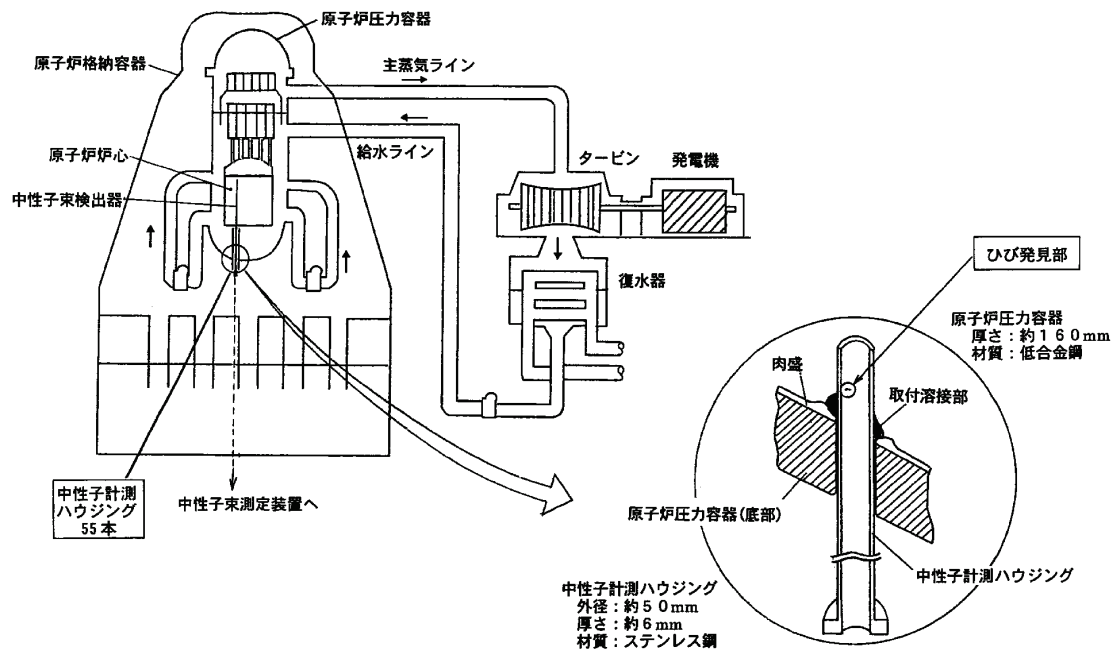
なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

また、資源エネルギー庁による国際原子力事象評価尺度（INES）暫定評価では、レベル 0- とされています。

以上

添 付 系統概略図

系統概略図



当該箇所拡大図